

国際常民文化研究機構 第5回国際シンポジウム

渋沢敬三の資料学 —日常史の構築—

Shibusawa Keizo and his Cultural Material Studies: Toward a Construction of History of Everyday Life

プログラム

日時：2014年3月9日（日）10:00—17:20

会場：神奈川大学 横浜キャンパス 16号館視聴覚ホールB

総合司会 廣田 律子（神奈川大学日本常民文化研究所）

開会挨拶

齊藤 隆弘（神奈川大学 副学長） 10:00—10:05

趣旨説明

佐野 賢治（神奈川大学日本常民文化研究所） 10:05—10:15

基調講演

「ヨーロッパにおける日本関係コレクション —美術・工芸から民具へ—」 10:15—11:15
ヨーゼフ・クライナー（ボン大学 名誉教授）

パネル報告

【民具】 「伝統的農具にみる中国農民史」 11:15—12:15
曹 幸穂（中国農業博物館 農業史研究所 前所長）
（通訳含む）

— 昼食 — 12:15—13:15

パネル報告

【画像】 「お札の世界—世界のお札」 13:15—13:45
ジョセフ・キブルツ（フランス国立科学研究センター）

【映像】 「映像に見る常民生活の伝統と再生」 13:45—14:15
宮本 瑞夫（宮本記念財団）

— 休憩 — 14:15—14:30

【音声】 「音盤に聴く東アジアの音楽交流」 14:30—15:00
—日本コロムビア外地録音資料を例に—
福岡 正太（国立民族学博物館）

【生活誌】 「農村の生活文化調査と持続的な記録の必要性」 15:00—16:00
—全羅南道長興郡上金マウルの事例を中心に—
（通訳含む）
崔 順權（韓国国立民俗博物館）

— 休憩 — 16:00—16:15

コメントおよび総合討論

崔 吉城（東亜大学） 16:15—17:15

佐藤 健二（東京大学）

閉会挨拶

前田 禎彦（神奈川大学日本常民文化研究所 所長） 17:15—17:20

* 登壇者の所属は、シンポジウム開催当時（平成25年3月）のものです。